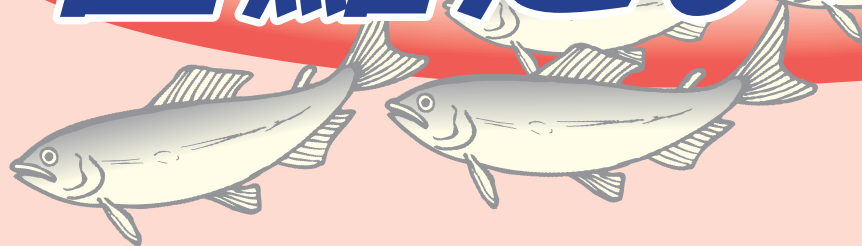


若鮎だより

第63号

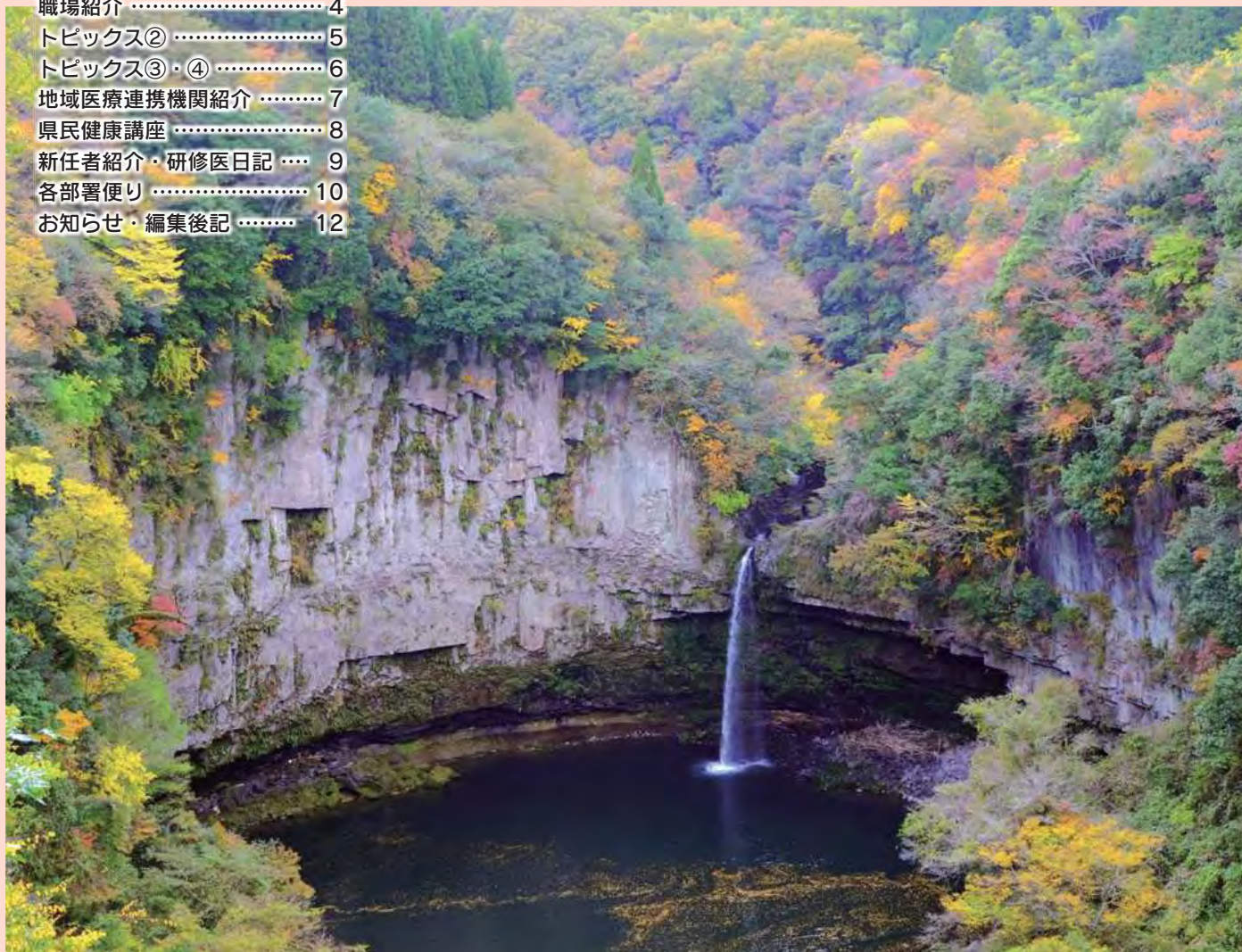


2023
秋号

ご自由にお持ち帰りください。

◇主な内容

トピックス①	1
診療科紹介	3
職場紹介	4
トピックス②	5
トピックス③・④	6
地域医療連携機関紹介	7
県民健康講座	8
新任者紹介・研修医日記	9
各部署便り	10
お知らせ・編集後記	12



うのこの滝（五ヶ瀬町）にて（臨床工学科 出水拓也さん撮影）

宮崎県立延岡病院

〒882-0835 延岡市新小路2丁目1-10

TEL 0982-32-6181

FAX 0982-32-6759

URL: <https://nobeoka-kenbyo.jp>

外来化学療法室が 「化学療法センター」となり、 10月より移設しました！

外来化学療法室とは、入院をせずに通院でがん化学療法が受けられる治療室のことです。通院で治療をおこなうことで、仕事や家庭生活との両立ができ、生活の質を維持することができるため、近年、全国的に外来化学療法の件数は急増しています。

当院の外来化学療法室は、平成18年4月にベッド数9床で内科外来の隣に開設されました。開設当時は毎月延べ50～80名程の患者さんの治療をおこなっていましたが、現在は10床のベッドで毎月延べ300名程の患者さんを受け入れています。治療件数は年々増加し、それに伴いベッド数の不足により患者さんをお待たせすることが課題となっていました。

このたび、令和5年10月2日(月)に外来化学療法室は、整形外科外来隣（旧リハビリテーションセンター跡）へ移転拡充され、名称も「化学療法センター」となり、ベッド数が20床（ベッド15床、リクライニングチェア5床）へ増床しリニューアルされました。治療中、より快適にお過ごしいただけるよう、各ベッド・チェアにはテレビが設置されています。センター内には、ご家族待合室や相談室、薬剤調剤室を新設し、患者さん用トイレも2か所（1か所はオストメイト対応トイレ）設けました。また、センター内に薬剤調剤室を設けたことで、薬剤部との連携が更にとりやすく、スピーディな薬剤提供につながります。

化学療法には身体的苦痛を伴う副作用が出現することがあります。通院治療では、自宅でのセルフケアや体調が悪くなった際の対応に不安を感じることもあると思います。患者さんやご家族が日々の生活を大事にしながら、より安全・安楽に治療を受けることができるよう、一番近くで支える看護師も増員となりました。

治療室の場所や環境が変わり、慣れるまで皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・患者支援センターなど多職種との連携をより一層強化し、療養生活をサポートしていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



化学療法センター



化学療法センター
入口



中の様子①



中の様子②



中の様子③



抗がん剤
調整室



相談室

診療科紹介

内科(腎臓内科)



当科は、医師2名で診療をおこなっています。

おもな診療内容は、糸球体腎炎・腎不全・ネフローゼなどの腎疾患を中心とした診療の他に血液浄化療法をおこなっています。腎臓の病気は、腎臓固有の疾患以外にも、糖尿病、高血圧、膠原病などの全身疾患の一部分症としての腎障害があり、その範囲は多岐にわたります。腎機能が廃絶した腎不全患者さんに対しては、腹膜透析、血液透析の導入をおこなっています。その他、血液濾過療法や血漿交換療法、血漿吸着療法、血液吸着療法など、血液浄化を必要とするすべての疾患に対応しています。また、院内で発生した急性腎障害や電解質異常などのコンサルテーションを積極的に受けています。

外来診療は、火曜日(腎代替療法選択外来・腹膜透析外来)、水・金曜日(腎臓内科専門外来)、木曜日(腹膜透析外来)です。ビデオ映像や実際に機械を見ていただきながら治療法の情報提供をおこない、治療法を決めるサポートをさせていただきます。

今後も宮崎県北地域の皆様に安心して医療を受けていただけるよう努力していきたくと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

小児科



当科は、一般感染症から非感染性の慢性疾患の患者さんの外来診療や入院対応をおこなっています。対象疾患は、血液、内分泌、神経、アレルギー、循環器、消化器、膠原病、腎臓病、染色体異常症など小児内科全般にわたり、大学病院をはじめ院外の専門家と情報交換を密におこないながら、日々の診療に励んでいます。

高度な医療管理が必要な場合には、三次医療機関にドクターヘリや防災ヘリ、救急車に医師が同乗して搬送しています。月曜午後はシナジスなどの予防接種(指定患者)、木曜午後は乳児健診・フォローアップ外来です。入院や慢性疾患の患者さん対応に十分な時間を確保するため、日常診療は原則紹介制となっています。24時間オンコール体制で重症患者に対応するため、急な発熱や時間外診療は、かかりつけ医や夜間急病センター受診をお願いしています。

子どもの健康を守り、健やかな成長を実現するためにスタッフ一同力を合わせて頑張ります。よろしくお願いいたします。

職場紹介

手術室



当院の手術室では、11の診療科の手術を全身麻酔や局所麻酔で年間2,600～2,700件おこなっています。人工心肺を使用した心臓の開心術や肺の胸腔鏡下手術、放射線画像を見ながらの手術、内視鏡を使用した手術もおこなっています。スタッフは、麻酔科常勤医師3名と大学からの応援医師1名、看護師23名の他、看護助手・クラーク（委託）がいます。また、放射線技師や臨床工学技士など多職種で連携・協働を図りチーム医療をおこなっています。

患者さんにとって手術を受けることは人生における大きなイベントです。手術中だけでなく、手術前から手術後まで術前訪問や術後訪問をおこなって、患者さんが安心して安全に手術を受けられるように、気持ちに寄り添った質の高い看護の提供に努めています。

日々、忙しい職場ですが、スタッフ同士のコミュニケーション、チームワークで県北の患者さんへ貢献できるよう奮闘しています。

栄養管理科



当科は、医師2名と管理栄養士7名、委託職員30名の計39名で栄養管理をおこなっています。

「真心のこもった食事の提供」を理念に、日々の食事を提供しております。疾患に対応した食事のほか、食欲不振やアレルギーにも細やかに対応できるよう、ベッドサイド訪問を実施しています。また、定期的に調理師と病棟訪問し、患者さんのご意見を伺い、美味しく食べていただける食事づくりに取り組んでいます。外来入院問わず、食事療法が必要な

患者さんとそのご家族には、医師の指示に基づき栄養食事指導を実施しています。また、当院はNST（栄養サポートチーム）稼働施設に認定されています。医師、歯科医師、看護師、薬剤師、言語聴覚士、管理栄養士の多職種が協働して、最適な栄養管理による患者さんの早期回復を目指しています。

これからも安全安心でおいしい食事の提供と栄養管理に努めてまいります。栄養・食事のことで気になることがあれば、お気軽にお尋ねください。

『令和五年度 大規模地震時医療活動訓練』参加について



DMAT

南海トラフ地震を想定した医療活動訓練が9月30日(土)に開催され、災害拠点病院である当院も参加しました。災害拠点病院とは、災害発生時に被災地内の傷病者の受入及び搬出の拠点となる医療機関のことで、県が認定する要件には、24時間の緊急対応が可能であること、災害派遣医療チーム（DMAT）を保有すること、被災後3日間は病院機能を維持できるよう燃料や水や食料の備蓄を有することなどの条件を満たす必要があります。県内には当院を含む12医療機関が指定されています。大規模地震の発生時には、建物倒壊、火災や津波等により多数の負傷者の発生に加え、医療機関の被災に伴う多数の転院患者が発生します。医療ニーズが急激に増大し、県北の災害拠点病院の医療資源のみでは対応できない事態が想定されますので、DMATをはじめとする全国からの医療チームの受入れを迅速におこなって、最低限の災害医療対応が可能な体制および関係機関との連携体制を出来るだけ早く構築する必要があります。

今回の訓練は、その対応を検証することを目的としたもので、被害状況が判明し始める発災2日目を想定して、宮崎県、大分県、四国4県の6県に全国のDMATが派遣されました。当院にも全国から18隊のDMATが救援に訪れてくれました。自衛隊ヘリで派遣されたチームもありました。この18隊を当院からさらに県北の9つの医療機関に派遣して、県北の被災状況の調査、支援物資の調達、災害医療活動のサポートなどをおこない、災害医療体制や連携体制を確認しました。

当院からもDMAT隊員だけでなく、寺尾院長以下98人が訓練に参加しました。本番さながらに病院災害対策本部を設置して、病棟部門、トリアージ部門、救護所部門の災害時医療活動や派遣されたDMATとの連携を確認しました。

災害対策本部（ミーティング）



トリアージ部門や救護所部門の受入訓練



DMAT活動拠点本部（ミーティング）



病棟の受入訓練（机上訓練）



トピックス③

新たに化学療法科が設置されました！

令和5年10月2日(月)より外来化学療法室がリハビリテーションセンター跡に移転、リニューアルオープンいたしました。それに合わせて、化学療法科が新たに立ち上がりました。

ここに至るまでの関係各所の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

がんの治療には大きく4つの柱があります。すなわち、①手術療法、②放射線治療、③化学療法、そして最近急速に広がりつつある④免疫療法です。がんの治療を進めるに当たりましてはさらに緩和医療も大切です。この中で化学療法科は、化学療法と免疫療法を受け持ちます。

昨今、がん治療に対するイメージはずいぶんと変わってきています。以前は、がんの病名は患者本人には伝えず、本人とは別にご家族だけを呼んで病名を伝え治療方針を決めていました。当時は今のように手術以外に有効な治療法がなく、残された時間を本人は何も決められないまま治療が進んでいました。現在は、本人にきちんと病名、治療法、予後などを家族と一緒に話しし、最終的には本人に方針を決めていただいています。それにより患者さん本人そして家族が自分なりの生活を送りながら、がんに対する治療を進めることが出来るようになっていきます。化学療法科は、そのお手伝いとして、外来で出来る治療で患者さんや家族が希望するときには、スムーズに外来で治療が受けられるように、これからもますます努力をまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

トピックス④

初期研修医のIVR研修事始め

9月下旬に延岡病院で研修する初期研修医12名が医療トレーニングセンターで、IVR治療（カテーテルや内視鏡を用いた体に優しい治療）の基礎的な研修を受けました。

人体モデルを使って、実際の心筋梗塞の治療でおこなわれているように心臓内の血管にカテーテルを挿入して、狭い血管を広げる練習をおこなったり、胆管の腫瘍や石で胆管が閉塞した治療として、人体モデルの狭くなった胆管内に内視鏡を使ってステントを挿入するなど実践に近い研修をおこないました。カテーテルや内視鏡の操作は最初は手こずっていたものの、ゲーム世代の若者は短時間でそのコツを体得していくのはさすがでした。

院内での臨床研修とはまた一味違う楽しさに、時を忘れて夢中になってカテーテルや内視鏡操作をする中で、この中から将来の名医が現れることを期待しました。



IVR治療の研修の様子

地域医療連携機関紹介

医療法人 ソフィア会 みやた内科医院



院長：宮田 純一

当院は私の父、宮田一久が県立延岡病院を退職し、昭和37年に宮田小児科医院を開業してスタートしました。父の跡を継いで平成元年に私がみやた内科医院として内科で開業し現在に至っています。職員の総数は25名で、その他に清掃と厨房の委託職員が所属しています。有床診療所として入院患者の診療や血液透析患者の治療をおこなっています。外来では腎臓病、高血圧を含む循環器疾患、COVID-19、上気道感染症等の診療をおこない、また、予防接種、市の住民健診、学校検尿の精密検査をおこなっています。診療の他に九州学校検診協議会腎臓専門委員として検診の統一マニュアルの作成や、厚生科学研究「小児難治性腎尿路疾患の早期発見、診断、管理、治療に関する研究」で研究協力者として研究にも携わってきました。開業医として1次医療をおこなっていますが、プライマリケアが実践できるのは2次3次医療を県北でおこなっている県立延岡病院のおかげです。ご紹介した患者さんを通して県立延岡病院の御指導で多くの事を学ばせていただいています。今後も地域医療を守るべく医療連携を大切にしたいと思っています。



外 観

住所：延岡市永池町2丁目7番地 TEL：0982-33-5883

医療法人 愛生会 山中産婦人科医院

当院は、連携病院である県病院との強力なパートナーシップを築いています。

県立延岡病院は、地域医療の中心的存在であり、幅広い専門医療を提供しています。当院との連携により、妊娠・出産に関わるあらゆる状況に対応できる体制を整えています。緊急時や重篤な症状の患者さんには、県立延岡病院の優れた医療技術や豊富な経験を活かした迅速な対応がおこなわれます。

これは毎月おこなわれる県北産婦人科医会（二八会）なるものも非常に大きな役割を果たしています。この会は、約70年間コロナパンデミック以外は必ず開催しております。会食がメインですが、講師に来て頂き知見を伸ばしています。ざっくばらんな会ですが出席率はほぼ100%です。

会員同士のグループラインもあり、寺尾院長の一声で団結し強い絆で問題解決します。コロナ明けの今年5月より復活し、皆のストレス解消の場がもどって幸せです。

当院では、県立延岡病院との協力により、産婦人科診療ができます。

これからも最新の医療情報に基づいた高品質な医療を追求し、患者様の健康と幸福のために全力で取り組んでまいります。

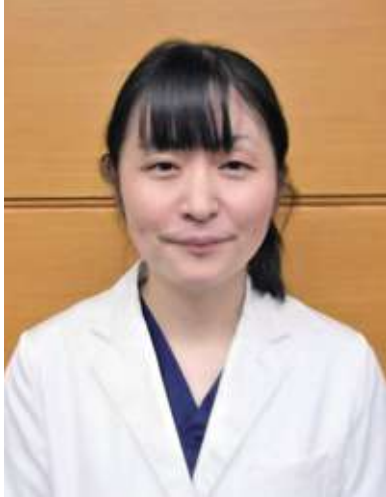


院長とスタッフの皆さん 県北産婦人科医会の皆さん

住所：延岡市船倉町1丁目2-2 TEL：0982-33-3610

県民健康講座

難聴について



耳鼻咽喉科 副医長 猿渡 英美

(県立延岡病院 講堂 2023.8.16)

難聴は高齢者の方の多くが直面する問題です。難聴の発症する時期は様々ですが、難聴の方は、55歳を過ぎた頃から多くなり、60歳を過ぎると急激に増加するという報告もあります。難聴はコミュニケーション障害の原因となり、社会的な孤立やうつを引き起こす要因となる可能性があります。近年では認知症発症のリスクとしても注目されています。

加齢による難聴は一般的に高音域から進行します。音は聞こえても言葉としての聞き取りが悪くなり、聞き間違いや聞き返しが多くなったり、テレビの音量が大きくなったりもします。早口が聞き取れない、雑音下での会話が聞き取れないといった特徴もあります。気になる症状がある場合は、まずは耳鼻咽喉科を受診してください。また、加齢性難聴は徐々に進行するため、本人の自覚がない場合もあります。自分ではまだ大丈夫と思って周囲の方に聞こえを心配されるようなことがあれば、一度耳鼻咽喉科を受診していただくと良いでしょう。難聴には耳垢や中耳炎、鼓膜穿孔が原因となるものもあり、その場合は処置や手術で聞こえがよくなる可能性があります。加齢による難聴に対しては補聴器の装用をおこないますが、一旦装用を開始してもわずらわしさやすぐに効果を実感できないといった理由からやめてしまうケースもあります。ただ、補聴器装用を開始してもすぐに難聴が解決できるわけではなく、ご自身の聞こえに合わせた調整をしながら正しい聞こえに徐々に慣れていくことが必要です。また、補聴器をつけるとますます耳が悪くなるといった誤解から、補聴器装用に消極的なまま過ごしている方もいらっしゃいますが、補聴器はその方に必要な音量を届けるように調整するため、聴力を悪化させるような過大な音が出ることはありません。難聴の期間が長いほど補聴器に慣れるまでに苦労するケースもありますので、聞こえにくさが出てきたら放置せずに耳鼻咽喉科を受診してください。



新任者紹介

新しいスタッフをご紹介します。

内科 医員

くろき としき
黒木 利樹
(令和5年10月着任)

延岡では初めての勤務になります。精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

救命救急科 医員

くろき たくや
黒木 琢也
(令和5年10月着任)

宮崎大学から異動となりました。昨年度まで美郷町で勤務しており、半年ぶりの県北で頑張りたいと思います。

救命救急科 医員

みやけ よしひろ
三宅 良博
(令和5年10月着任)

初めての県北勤務になります。患者さんと家族の気持ちを大切に診療ができればと思います。



研修医日記

谷口 愛友子

県立延岡病院研修医1年目の谷口愛友子と申します。私は生まれも育ちも大分で生粋のおおいたっ子なのですが、大分大学卒業後新境地へ飛び込みたい！でも大分にはなるべく近い場所がいい…と探した結果、若干飛ばせば大分駅まで高速で1時間半で着くここ県立延岡病院に辿り着きました。そんな延岡で早くも半年が過ぎようとしています。“日記”ということで半年分の日記をしたためようと思いましたが、残りの字数を考えて直近の1週間を振り返ります。1週間前の3連休前日、仕事を終えた同期4人で延岡名物の某トンカツ屋に食べに行きました。行く直前にふらっといなくなった岩下君を躊躇なく置いていく私を含む女子3人（後で合流しました）。4人で日南にサップをしに行く程仲良くさせてもらっています。3連休は東京へ。研修医はしっかり休みが取れる病院です。月曜から当直が入っていましたが週末の疲れを優しい看護師さんたちに癒していただきました。そんなこんなで、そんなこんなでという言葉で締めくくってないですが、2年間よろしくお願いします。



同期研修医（中村、柏田、谷口、岩下）

栄養管理科便り

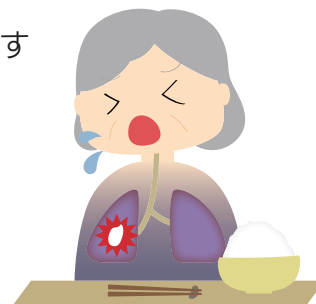
●嚥下（えんげ）とは

食べ物を飲み込んで消化器官に運ぶ一連の動作のことです。加齢や脳卒中の後遺症などにより、嚥下がうまくできなくなり、食べ物が気管に入ってしまうことを誤嚥（ごえん）といいます。

この際、細菌や唾液と一緒に気管に入り、肺が炎症を起こすと、誤嚥性肺炎を発症します。

以下のような症状はありませんか？

- ✓ 食事中におせることが多い
- ✓ 飲み込みにくいもの、食べにくいものがある
- ✓ 声がガラガラしている



上記のいずれかが当てはまる場合、嚥下機能が低下している可能性があります。

●嚥下食とは

嚥下機能のレベルに合わせて飲み込みやすいようにかたさや形態、まとまりやすさを調整した食事です。



●誤嚥しやすいものと工夫

さらさらした液体

水、お茶、ジュース、汁物

とろみを付ける



はりつきやすいもの

餅、だんご、海藻類、
あめ玉、もなかの皮

まとまりにくいもの

こんにゃく、イカ、かまぼこ、
ごぼう、豆、きのこ

刺激のあるもの

酢、柑橘類、からし、
わさび、七味

すすって食べるもの

麺類、お茶漬け

パサパサしたもの

パン、ふかし芋、ゆで卵、
焼き魚、高野豆腐、カステラ

- ・生クリームや牛乳、マヨネーズ
を加えてなめらかにする
- ・あんかけにする



★★★ そのほかにも、こんな工夫で食べやすくなります ★★★

- ・加熱してやわらかくする
- ・繊維に対して垂直に切る、隠し包丁を入れる
※細かく刻むと口の中でばらけやすいため、一口大に切ってやわらかくなるまで加熱がおすすめです。
- ・卵や豆腐、山芋、小麦粉、味噌、練りゴマなどのつなぎを加える
(例：ほうれん草のおひたしを、ほうれん草の白和えに変更)

患者支援センターだより

高齢者の1人暮らしや高齢者夫婦の世帯の増加は、みなさん身近に感じられていると思います。患者支援センターには、介護の必要性、認知機能の低下、通院や内服管理の不安などの相談が多く届きます。お1人で悩まず、私たちと一緒に解決方法を探しましょう。

必要ない入院生活を避けることも高齢者の自立支援につながります。入院治療が必要になればすぐに入院、その必要性がなくなればすみやかに地域にもどれるようにすることが大切です。地域の介護・福祉の専門の方と協力し、再入院にならない工夫を行い、そして患者さんやご家族が望む生活に少しでも近づけるように、お手伝いしていきたいと思っております。

入院前の支援をおこなっています



入院前に、普段の生活状況や、ご希望ご不明な点を確認し、入院生活の注意点やスケジュールについて説明しています。

入院前から退院後の生活上の注意点や準備について一緒に考えていきましょう。

**予約が必要です。
ご不明な点は患者支援センターに
お尋ねください。**



医療や介護の相談を受けています
県立延岡病院 患者支援センター

☎0982-32-6181 (代表)

《働き方改革にご協力ください！》

働き方改革関連法施行に伴い、令和6年度4月から医師の時間外労働が規制されます。これに向けて当院でも現在積極的に医師の働き方改革、時間外労働削減を進めているところです。

患者さんやそのご家族にご迷惑をおかけすることがあると思いますが、ご理解とご協力をお願いします。



1 病状や手術、処置の説明は原則勤務時間内に行います。

緊急の場合や診療状況でやむを得ない場合を除き、説明は勤務時間内（平日8時30分～17時15分）に行わせていただきます。



2 休日や夜間は主治医に代わり当直医や当番医が対応します。

夜間休日は、当直医、当番医が対応し、必要に応じて担当医や主治医と連絡を取りながら適切に診療を行います。



3 救急外来診療の適切な利用をお願いします。

本院は高次救急医療施設であり、近隣病院では対応できない重症患者の受け入れが大きな任務です。風邪などの日常的な疾患は近隣の医療機関か夜間急病センターへの受診をお願いします。



編集後記

〈編集長 呼吸器外科 主任部長 能勢直弘〉

9月29日(金)、30日(土)、政府主催の大規模災害訓練が当院でおこなわれました。災害拠点病院である当院職員の他、他県からの応援隊や消防、自衛隊等も参加しました。

西日本では紀伊半島～四国南方沖約100kmの海底にある東西の溝（南海トラフ）を震源とした大震災が、平均約80年に1度の頻度で起ります。前回は1944年と1946年に発生し、津波到来も相まってそれぞれ死者行方不明者約千人規模の甚大な被害をもたらしたそうです¹⁾。

今年は何回から数えて約80年目。政府によると大規模南海トラフ地震が30年以内にかかる確率は70～80%だそうです²⁾。

宮崎県臨海地域は広域地震津波被害が想定されています。津波がくれば体が濡れるどころの騒ぎではありません。今日の降水確率70～80%と聞いて傘を持っていく人は、地震に対する備えもするべき³⁾です。



あらゆる部門の当院職員が真剣に参加しました。

参考：出典1) 国土交通省四国地方整備局 防災グループ home page (2023.10.2検索)

2) 国土交通白書2020

3) 当院災害対策委員会勉強会資料2023.9月

宮崎県立延岡病院 外来診療・病棟案内

● 外来診療については、かかりつけ医の紹介状と病院・診療所からの事前予約が必要です。 令和5年10月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	特殊診察等
内科	呼吸器 (新患) (再診)	味志 山口	- 天神/古閑	山口 再診担当医	天神 山口	古閑 味志	(水)(金)午後……………気管支鏡検査 (火)(木)……………腹膜透析外来 (火)(水)(木)午前……………上部消化管内視鏡 (火)(木)午後……………下部消化管内視鏡 (火)午後……………腎内手術
	血液	外山	外山	外山	外山	外山(再診)	
	消化器 (新患) (再診)	平田・小野 市成	- -	- -	- -	市成・小野 平田	
	腎臓	-	-	西園	-	西園	
呼吸器外科	能勢(再診) 手術	能勢 濱廣	能勢 濱廣	能勢 手術	能勢(再診) 手術	(月)(木)(金)……………手術 (水)(金)午後……………気管支鏡検査 (水)午後……………禁煙外来(院内コンサルトのみ)	
外科・消化器外科	土居 石躍	土居 本田	手術	原田 本田	石躍	(月)(水)(金)……………手術 (火)(木)……………特殊検査 ストーマ外来	
心臓血管センター	心臓血管外科	松山	手術	松山	手術	松山	(月)(火)(木)……………手術
	循環器内科	森	黒木	検査 手術	山本(展)	白濱	(月)~(金)……………手術・検査 (月)~(金)9時30分~…心臓カテーテル (月)(水)(金)午後……………ペースメーカー外来
整形外科	井口 小園 大倉 飯田	栗原 大倉 北島 石原 飯田	手術	栗原 小園 北島 石原 井口	手術	(月)(水)(金)……………手術 毎月第3(金)……………こども療育センター外来 (脳神経外科にて診察)	
	歯科口腔外科	手術	山本(哲)	山本(哲)	山本(哲)	山本(哲)	(月)……………手術 毎週(木)午後……………手術
			山下(沙)	山下(沙)	山下(沙)	山下(沙)	
			相川	相川	手術	相川	
産婦人科 周産期科	山内 大塚(晃) (午前) 大澤(午後)	手術	大塚(晃) (寺尾)・(都築) (午前) 大澤(午後)	手術	第2・第4 都築 大塚(晃) (午前) 山内(午後)	(火)(木)……………手術 第1・第3(金)……………宮崎大学非常勤医師 水曜日午前 第1・第3…都築 第2・第4…寺尾	
	猿渡	猿渡	手術	猿渡	猿渡	(水)……………手術 (月)……………難聴外来 (火)(金)午後……………嚥下外来(院内コンサルトのみ)	
	中村 佛淵 大富	- 久保田 大富	中村 佛淵 久保田	中村 - 佛淵	- 久保田 大富	(月)午後……………予防接種(指定患者のみ) (火)(水)午後……………慢性疾患 (木)午後……………乳児検診・フォローアップ外来 8月~3月 シナジス	
脳神経センター 脳神経外科	穴井 村井	手術	西川	手術	穴井 西川	(火)(木)……………手術 (月)(水)午後……………血管造影	
皮膚科	後田 福良	後田 福良	後田 福良	手術	後田 福良	(木)……………手術 (木)……………休診日	
	山下(康) 石川 大塚(武)	山下(康) 石川 大塚(武)	手術	山下(康) 石川 大塚(武)	手術	(水)(金)……………手術	
泌尿器科	-	松田	-	松田	-	完全予約制	

※緊急以外の新患の受付は、午前11時00分までです。
※精神科・脳神経内科・眼科は現在休診となっております。

病棟フロア

	西側	東側
7階	リハビリテーションセンター	呼吸器センター 耳鼻咽喉科、歯科口腔外科
6階	整形外科	消化器センター 泌尿器科
5階	心臓血管センター 内科、人工透析室	内科
4階	女性病棟(産婦人科、内科 循環器内科、外科(乳腺))	小児科、周産期センター 内科、循環器内科、皮膚科
3階	救命救急科(全科) 集中治療センター、HCU、手術	脳神経センター 救命救急科、総合診療科

☆☆ 院内セキュリティ強化について ☆☆☆ (お知らせとお願い)

不審者等による院内への侵入を防止するため、
夜間(18時から翌朝8時まで)や土日祝日(年
末年始を含む終日)においては、院内への入口を
南側救命救急センター横の夜間・時間外入口(警
備員室前)1箇所のみとさせていただきます。



健康増進法第
25条の定めによ
り、受動喫煙
防止のため、
敷地内での喫
煙を禁止しま
す。

広報委員会からの お知らせ

広報誌へのご意見・お問い合わせにつきましては院内のご意見箱、
FAX0982-32-6759 または <http://www.nobeoka-kenbyo.jp/> まで!